

## 人前で発表する ～2年生音楽選択者修了コンサート～

2月7日（水）5限、2年生音楽選択者によるミニコンサートが開かれました。音楽を選択している19名の生徒が5つのグループに分かれて、自分たちで選んだ曲を音楽の時間に練習し、このコンサートで発表しました。

コンサートを聴きながら、発表する生徒の様子を見ながら感じたことは、人前で発表するというのはやはりなかなか大変なことだということです。でも、同時にそれは貴重な学習の機会だということです。

本番での発表に向けて、まちがえずに演奏できるように練習しないとイケません。本番の場所は音楽室ですが、他の生徒やコンサートを聴きにきた先生たちの前で演奏するのは大変緊張したと思います。練習通りにうまくいったグループもあったかもしれませんが、本番ではなかなか練習したとおりにはいかずにミスをしてしまい、悔しい思いをしたグループもあったことでしょう。

人前で何かをするのはとても緊張します。まちがえたりミスしたりすると恥ずかしい気持ちになります。落ち込みます。でも、まちがえたりミスしたりするからこそ、次はまちがえずに、ミスせずにできるようになります。人は経験から学びます。中でも失敗の経験からより多くのことを学びます。成功するためには、その途中でたくさんミスすることが必要です。

今、テレビでは連日冬季オリンピックを放送しています。国の代表としてオリンピックに参加するような有名選手でも、本番の舞台上で日頃の練習通りにミスなく競技するのは、本当にむずかしいことだとよくわかります。でも、ミスから学び、ミスを次へのエネルギーに変えて、選手たちはがんばっています。

「成功」の反対は「失敗」はありません。「成功」の反対は「何もしないこと」です。  
「失敗」を恐れたり、恥ずかしがったりして何もしない人に「成功」はありません。  
ミスは必ず次の成功につながっています。成功する人は、その過程で必ずミスをします。  
ミスをしない人は、何もしない人であり成功しない人なのだと思います。

（校長 高橋信之）

